

## ◆◆レポート◆◆

# 生活支援体制整備事業に係る意見交換会

～令和5年7月12日開催～

### 始めに

令和5年7月12日(水)、町図書館中央館にて「第2層協議体合同会議・生活支援体制整備事業に係る意見交換会」が開催されました。

介護保険制度などの公的なサービスだけでは対応できない高齢者の課題を解決するため、“住民主体の助け合い・支え合い”が注目されています。そこで、高根沢町でも“住民主体の助け合い・支え合い”を展開しようと、第2層協議体のメンバーを中心に住民活動に関心のある方など29名が参加し、意見交換を行いました。

前半には、菅野忠雄アドバイザーより町の人口動向から見える将来像のお話と、矢口雅章第1層コーディネーターより先進事例の情報提供を、後半には小学校区に分かれて意見交換が行われました。意見交換では「移動が困難でサロンに来られなくなった方を送迎する仕組みがあるなら協力してみたい」「無理せず自分のできることが生かせるなら助け合い活動に参加したい」などの声が上がりました。

これらの意見を受けて、8月には、より具体的に“住民主体の助け合い・支え合い”を学ぶ勉強会を行うことになっています。

### 講話「高根沢町の人口動向から将来を考える」 (栃木県生活支援体制整備アドバイザー 菅野忠雄氏)

#### ☆キーワード

- ・少子高齢化への移行
- ・20歳～39歳の女性人口減少
- ・高根沢町は生き残れる町か？
- ・これから起きそうな社会情勢の変化
- ・自分の事として個々が考える



他市町の先行事例の情報提供  
(高根沢町第1層生活支援コーディネーター 矢口雅章)



☆紹介した事例

- ・住民主体の生活支援サービス(さくら市)
- ・通所付き添いサポーター(岡山県吉備中央町)

☆活動の3つのヒント

- ①自分の出来ることをやりましょう
- ②無理をしない範囲設定をしましょう
- ③専門家の力を借りましょう

意見交換会

小学校区ごとにグループを作り、意見交換をしました。

【意見交換のテーマ】

- ・地域の中で自分がやりたいこと
- ・自分の知っている地域の活動や活動者

東小学校区・上高小学校区

意見

・サロンの輪を広げたり、交流を深めたりするなど、近所づきあいを取り戻すための行動は今からでもすぐに始めることができる。

・自分たち住民の行動と行政のまちづくり施策の両面から進むと良い。



阿久津小学校区

意見

・隣近所の付き合いの中で見守りをしたい。見守り訪問など踏み込んだ活動ではなく、自分たちにできる範囲でやるのが良い。

・子ども食堂の高齢者版をやってみたい。

## 西小学校区

### 意見

- ・安心安全な道路を町に求めている。
- ・美容院へ行けない人のための出張美容院をやりたい。
- ・エコハウスたかねざわの設備を利用してほしい。
- ・宝石台には大学教員や音楽家など、多様な技術を持つ人が住んでいる。それを活かして「地域大学」のようなものをやりたい。
- ・だれにでもできる簡単な活動内容で、お楽しみ要素もあると参加しやすくてつながり作りの効果が高い。
- ・AED講習会をやりたい。



## 北小学校区

### 意見

- ・一人暮らしの人へのちょっとしたお手伝い(ちょボラ)をしたい。
- ・傾聴活動をしたい。
- ・自治会の高齢化が進み、班の機能が上手く回らないこともある。
- ・山崎新聞店では、新聞が溜まっている家があると包括支援センターへ相談している。また、お茶を飲みながら傾聴する「お茶っこ傾聴」をしている。
- ・移動手段がなく、自分でサロンへ来られない人への対応をしたい。
- ・自分たちにできることは、地域の中で気づいたことを行政や包括支援センター、社協などへつなぐこと。
- ・介護保険の認定がついていない人へも見守りや支援が必要。世話され上手になると良い。



## 中央小学校区

### 意見

- ・屋敷が広く、草刈りや剪定ができない一人暮らしの家の**環境整備**を手伝いたい。手伝えるきっかけがあると良い。
- ・一人暮らしで会話が少ないと認知症になりやすい。一人暮らしの人に戸を開けてもらうためにはどうすればよいか。



### 終わりに

8月には、“住民主体の助け合い・支え合い”を学ぶ勉強会を行います。参加者の皆様からのご意見を踏まえ、内容は「移送活動講座」と「生活支援活動講座」とします。住民の皆様のご参加をお待ちしております。